

市町村名	久米島町
------	------

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧ 農産物直売所整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ 農林水産物の安全・安心の確立
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容	本町の農産物の地産地消を推進し農業の振興に繋げるため、余剰農産物・規格外農産物を集約し供給する直売所の整備を行う団体へ支援を行う。
------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	14,445	-			
	(b) 予算現額	18,000	-			
	(c) 増減額(b-a)	3,555	-			
	(d) 繰越額		16,402			
	A. 計(b+d)	18,000	16,402			
	B. 執行済額	1,598	16,389			
	うち交付金充当額	1,278	13,111			
	次年度繰越額	16,402	-			
	執行率(%) (B/A)	8.9%	99.9%			
	予算の状況の説明	実施設計前に先進地視察を行うことになり、設計業務に不測の日数を要したため、工事発注が遅れ繰越となった。設計費1,598千円。工事費16,389千円。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		農産物直売所の整備	目標	(実施)	()	()
		実績	実施設計、建築工事の実施			
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	平成26年度にて、実施設計を実施、平成27年度で建築工事を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		農産物直売所利用農家数	目標	()	(8戸)	()	()
			実績		49戸		
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成27年度10月末で整備が完了し、平成28年2月から供用が開始され、農産物販売所利用農家数が目標を41戸上回り、地産地消や安心・安全な地域農産物を提供している。						

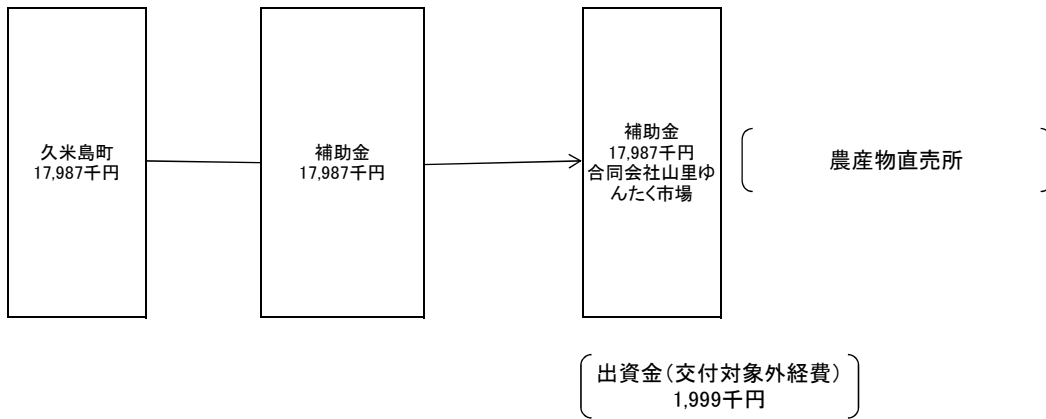
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の完成により、農産物の地産地消を推進し農業の振興に繋げ、余剰農産物、規格外農産物を集約し供給する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の安定供給には課題はあるものの、利用農家を増やし、地産地消及び農家所得向上に繋げる。

今後の取り組み方針

- ・商工会と連携し、経営安定のための取組を行う。
- ・生産農家を訪問し、ゆんたく市場への農産物の提供をお願いすると共に栽培等についての情報交換を行う。
- ・販売所の名前(ゆんたく市場)のとおり、農家や消費者との交流の場としても活用できるイベント等の取組を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,986	17,987	14,389	3,598	1,999



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先の団体は農産物の地産地消を推進し農業振興に繋げる計画に基づき事業を行うため妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は農産物の安全・安心を確立する上で必要な設備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である山里ゆんたく市場は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町
------	------

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑨ くめじま山羊振興活性化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立 III-1-(6)

事業内容
本町の山羊食文化及び山羊肉の地産地消の推進を図るため、優良品種山羊の導入と普及、山羊牧場の建設、「くめじま山羊の」のブランド化を確立し全町的な肉用山羊精算供給体制性の整備を行うを行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	1,453	38,067	-		
	(b) 予算現額	1,453	50,521	-		
	(c) 増減額 (b-a)	0	12,454	-		
	(d) 繰越額	-		26,742		
	A. 計 (b+d)	1,453	50,521	26,742		
	B. 執行済額	1,192	23,779	26,742		
	うち交付金充当額	953	19,023	21,393		
	次年度繰越額	0	26,742	-		
	執行率 (%) (B/A)	82.0%	47.1%	100.0%		
予算の状況の説明	本工事について当初、牛舎の単価にて積算し事業費を算出したが、実施設計をいれたところ、構造上躯体等の事業費が予想以上の積算となり、事業費の変更並びに設計の見直し等に不測の日数を要したため工事費にかかる26,742千円を27年度に繰越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		優良山羊の導入	目標 (雄3頭、雌20頭)	()	()	()
	実績	雄5頭、雌35頭				
山羊舎実施設計、建設、機械購入	目標 (実施設計、建設、機械購入)	()	()	()	()	
	実績	実施設計、機械購入				
達成状況説明	平成26年度に優良山羊の雄5頭、雌35頭導入。また、山羊舎の実施設計と飼料裁断機の購入を実施。平成27年度に山羊舎の建設を実施。					

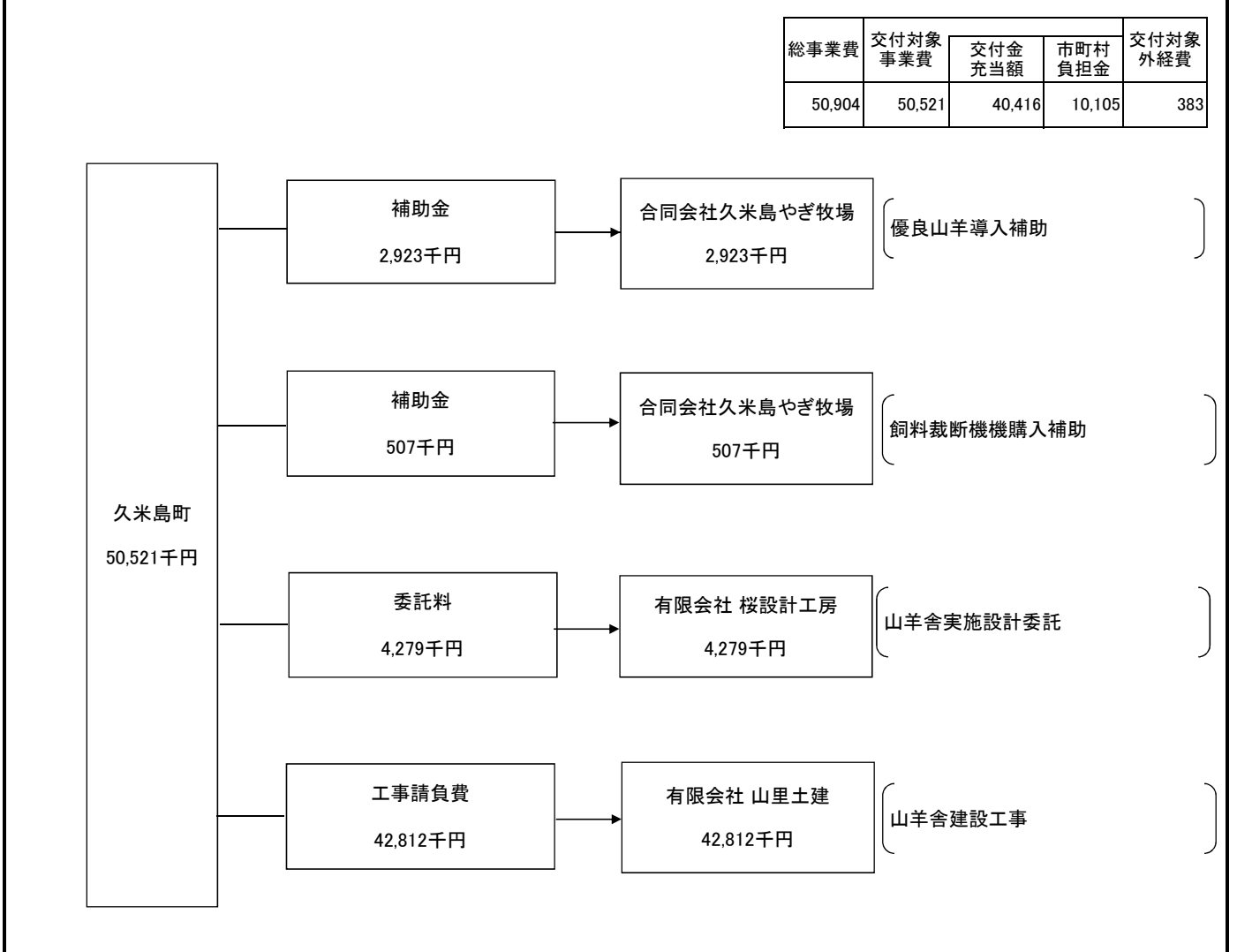
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)		
			優良山羊生産頭数	目標 ()	(40頭)	()	()	()
				実績		40頭		
優良品種山羊生産体制の強化	目標 ()	(実施)	()	()	()			
	実績		機械購入					
山羊舎の整備完了	目標 ()	(整備完了)	()	()	()			
	実績		整備完了					
進捗状況説明	平成27年度9月末で整備が完了し、平成27年10月から供用が開始され、山羊肉の地産地消の推進を図る供給拠点として運営されている。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本町では山羊食文化及び山羊肉の地産地消の推進を図るため、山羊の振興に力を入れているが、町内に拠点となる施設が無く、全町的な肉用山羊生産供給体制の構築するため、山羊舎を建設し、優良山羊を導入、飼料裁断機の購入を行った。</p> <p>導入した優良山羊を、山羊舎にて増頭し、各山羊農家へ払い下げることで、町内の山羊頭数の増頭を図り、全町的な肉用山羊生産供給体制を構築する。</p>	<p>平成26年度は夏場に山羊の導入を行ったが、移動時におけるストレスや暑さで体調を崩した山羊もいた為、今後導入を行う場合、涼しい秋頃に導入を実施する。</p>

今後の取り組み方針

山羊の発情をすばやく発見し、分娩間隔を短縮することで、2産/年を目指し、優良山羊の増頭を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は合同会社くめじま山羊牧場で山羊の飼養管理等を考慮すると妥当である。また委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は0円であり、適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である合同会社くめじま山羊牧場は事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名	久米島町
------	------

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-② 久米島観光プロモーション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25~33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(1)

事業内容	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、観光ビデオ制作や大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。
------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	12,705	29,000	-		
	(b)予算現額	12,705	27,589	-		
	(c)増減額(b-a)	0	▲1,411	-		
	(d)繰越額	-		1,739		
	A.計(b+d)	12,705	27,589	1,739		
	B.執行済額	12,600	25,850	1,739		
	うち交付金充当額	10,080	20,680	1,390		
	次年度繰越額	0	1,739	-		
	執行率(%) (B/A)	99.2%	93.7%	100.0%		
予算の状況の説明	・プロモーションの中の観光ビデオ制作の一部が4月にしか撮影できない風景があったため、1,739千円を繰り越して実施した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	28年度	29年度
国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進	目標	(旅行・宿泊予約サイトの活用)	(旅行・宿泊予約サイトの活用)	()	()
	実績		旅行・宿泊予約サイトの活用(1件)		
観光PR映像を活用した誘客促進	目標	()	(実施)	()	()
	実績		実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊予約サイトを活用したプロモーションを1件実施し、誘客促進を図った。 ・観光ビデオを制作し、各イベントや町公式WEBサイトに掲載し、久米島の魅力を発信した。 				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			情報発信件数	()	(4件)	(4件)
		実績		4回発信	4回発信	
	PR映像製作件数	()	()	(2件)	()	()
	実績			2件		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊予約サイト大手2件「楽天トラベル」「じゃらん」を活用したプロモーションを実施し「楽天トラベル」ではシーズン毎の情報発信をし「じゃらん」では動画を活用した大型特集ページにて情報発信をした。 ・PR映像製作では、島の年間を通した自然の移り変わりや文化、各種行事を記録し、記録編/ダイジェスト版(日本語・英語・簡体語・繁体語)/ドラマ編としてDVD及びブルーレイを制作した。 					

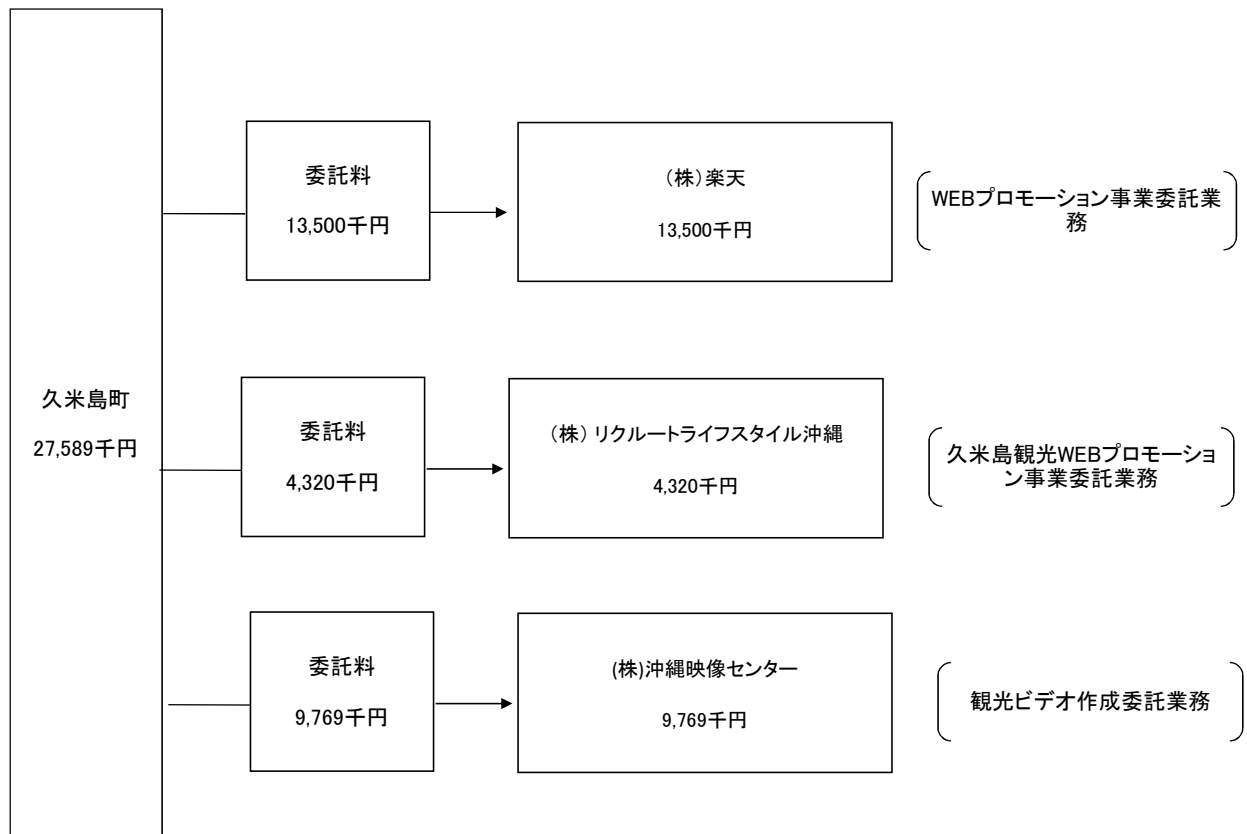
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町の観光産業が伸び悩む大きな要因の一つに、知名度不足があげられることから、近年主流のWEB旅行サイトの活用及び全国放送のTV番組の制作した。また観光PRビデオを制作するなど知名度不足の解消に努め、伸び悩む観光客の誘致を図った。	・WEBプロモーション制作に係る現地取材にあたり、天候不順によるスケジュール変更が極力生じないよう週間天気予報や天気図等に注視しながらスケジュール調整を早期に行う。
	WEBプロモーションの制作には季節ごとのターゲットを決め、取材するが悪天候や台風等により日程の取り直しの際に、予約先との日程調整に時間を要した。	
	観光PRビデオの制作については、久米島の春夏秋冬の移り変わる自然や年間の行事等を制作したが、沖縄県天然記念物「クメジマボタル」の出現期間が例年より短かったことから撮影ができず、年度内の業務完了が困難となり、27年度に繰越して事業を実施した。	

今後の取り組み方針

・宿泊予約サイトを活用したWEBプロモーションと併せて、テレビなどのメディアと連動させ、効果的なプロモーションを行っていく。
 ・観光PRビデオ制作について完成した映像を各種イベント等で放映や、誘致活動の際のツールとして活用していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
27,589	27,589	22,070	5,519	0



資金の流 れ、費 目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は0円であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

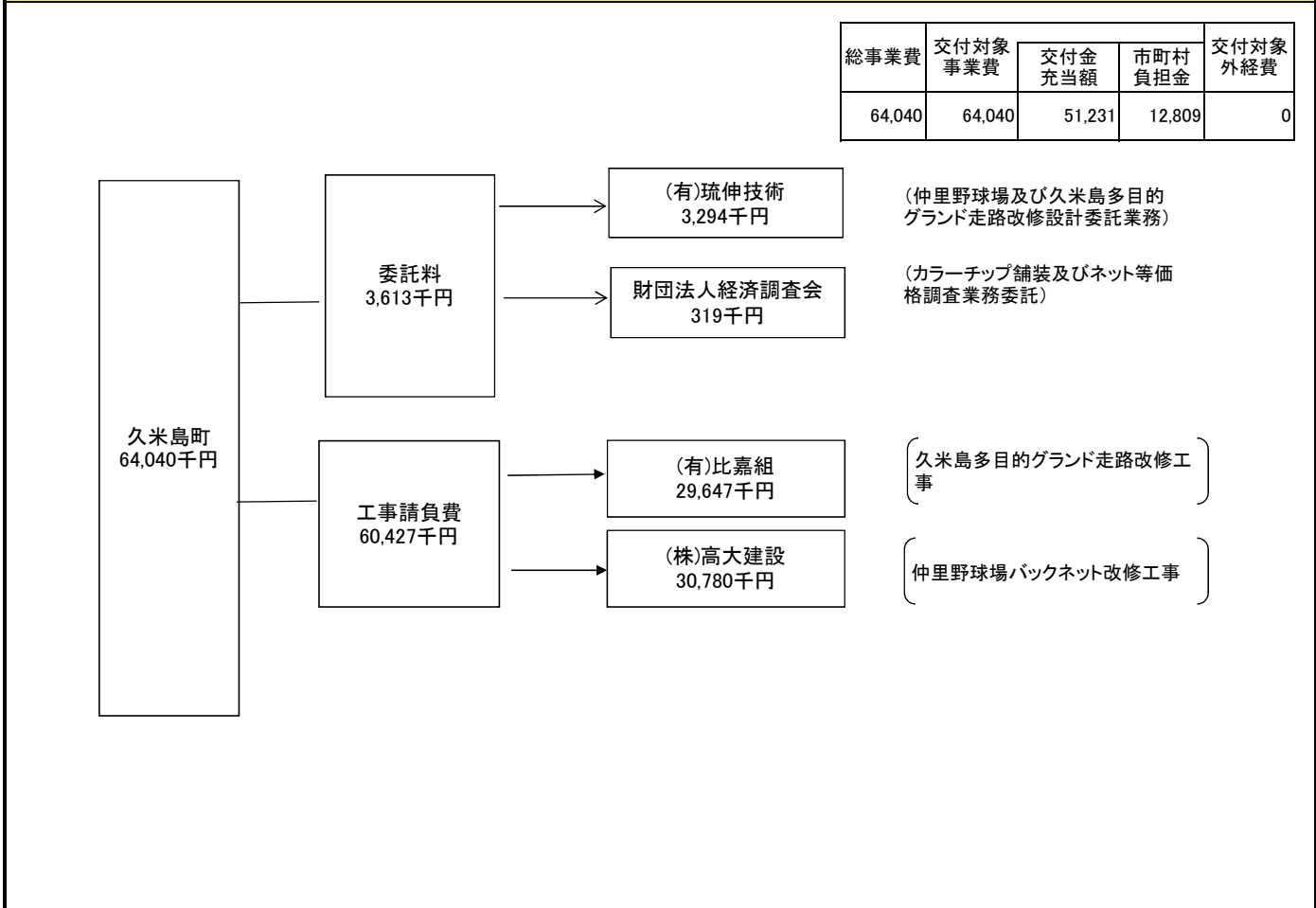
市町村名	久米島町						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① スポーツコンベンション施設機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部署名	環境保全課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島多目的グラウンド及び仲里野球場関連施設の整備を実施した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	52,000	-			
		(b) 予算現額	64,040	-			
		(c) 増減額 (b-a)	12,040	-			
		(d) 繰越額	-	36,256			
	A. 計 (b+d)		64,040	36,256			
	B. 執行済額		27,784	36,256			
	うち交付金充当額		22,226	29,005			
	次年度繰越額		36,256	-			
	執行率 (%) (B/A)		43.4%	100.0%			
予算の状況の説明		・グラウンド走路改修工事について、陸上競技関係者との調整に不測の日数を要したため、設計完了が遅れた。 ・また、工事についてはスポーツキャンプ(12月~3月)が入るため発注時期を調整する必要があり年度内の完了が困難となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	仲里野球場ネット改修工事	目標	(設計委託工事実施)	()	()	()	
		実績	設計委託工事実施				
	久米島多目的グラウンド改修工事	目標	(工事実施)	()	()	()	
		実績	工事実施				
達成状況説明	①仲里野球場バックネット及び久米島多目的グラウンド走路改修の設計業務委託完了。 ②仲里野球場バックネット改修工事の完了。 ③久米島多目的グラウンド走路改修工事の完了。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	仲里野球場施設使用	目標	()	(4団体)	()	()	()
		実績		6団体			
	久米島多目的グラウンド施設使用	目標	()	(2団体)	()	()	()
		実績		4団体			
	進捗状況説明	仲里野球場及び久米島多目的グラウンド走路の施設が充実したことにより、受け入れ体制の強化につながった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今回の施設整備により施設が充実したことで、スポーツキャンプやイベントの誘致活動を実施する。	年間をとおして施設が利用されるよう他施設との連携やイベント・行事等でのPRが必要である。

今後の取り組み方針

久米島野球場・仲里野球場をスポーツコンベンションの拠点施設とし、スポーツを通じた交流を促進するほか、受入を体制の強化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入業者、委託事業者及び工事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○非常食購入は特殊な品物であるため随意契約とした。 ○予算規模については観光リゾート産業の振興を図る上で必要であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目・用途の点検評価

市町村名	久米島町
------	------

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-② 安心安全な観光まちづくり事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25~28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-1-(1)

事業内容
安心安全な観光まちづくりを目指し、津波被害対策として緊急避難階段等の整備を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	3,000	27,901	-		
	(b) 予算現額	3,000	31,474	-		
	(c) 増減額 (b-a)	0	3,573	-		
	(d) 繰越額	-		19,075		
	A. 計 (b+d)	3,000	31,474	19,075		
	B. 執行済額	2,974	12,399	18,436		
	うち交付金充当額	2,379	9,919	14,749		
	次年度繰越額	0	19,075	-		
	執行率 (%) (B/A)	99.1%	39.4%	96.7%		
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容は全て実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みても適正だったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
		避難階段工事L=70mの実施	目標 (避難階段L=70m)	()	()
	実績	避難階段L=70m			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	真泊地区(仲里漁港)は、セリ市場の見学や、ダイビング、釣り客などの出港地として多くの観光客や町民が訪れる。しかし、津波が発生したとき、南側の高台に避難するには、西側か東側から大きく迂回しなければならない。津波発生時に観光客や町民が短時間に高台に避難できるように避難道を整備する必要があった。津波避難階段を整備したことにより、高台までに避難に要する時間を15分から5分に短縮することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		目標	(久米島町防災計画)	(実施)	()	()	()
		実績		実施			
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	真泊地区から避難に要する時間を短縮することができる。現在15分→避難道整備後5分						

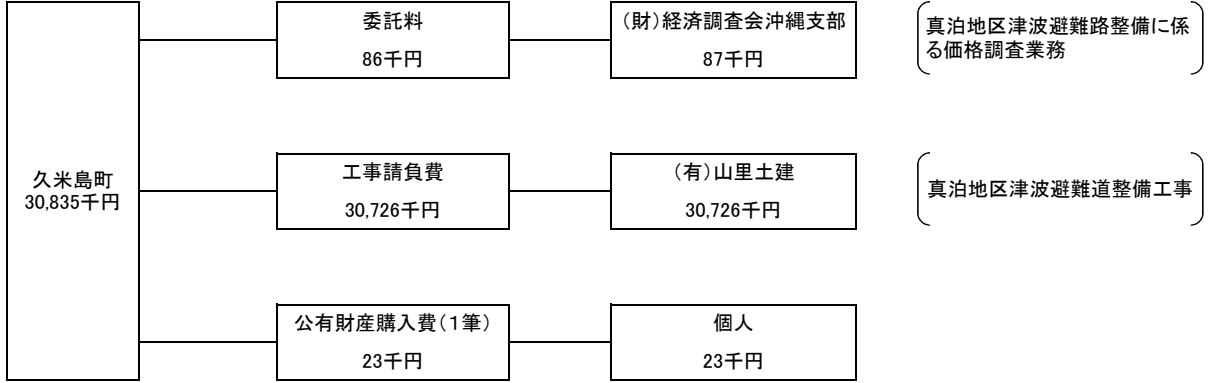
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	夜間に津波等の災害が発生した場合、照明や目印となるものがなく暗いため対策を講じる必要がある。また、当該避難階段から主要道路へのアクセスルートについても整備する必要がある。	照明等を設置することにより地域住民等が避難階段による避難がスムーズに出来るよう対策を検討する。また、夜間時の避難方法、避難後一時待機場所や主要道路へのアクセス方法についても地域住民の意見を取り入れ検討する必要がある。

今後の取り組み方針

当該避難階段から一時避難場所及び主要道路までのアクセス道路、避難階段の照明設備については、平成28年度及び平成29年度(平成28年度:設計、平成29年度:工事等)に整備する予定である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
30,835	30,835	24,668	6,167	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については防災体制の整備を図る上で必要であり、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町
------	------

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑤ 自動運転実証フィールド支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(ア)
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成26~28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-1-(1)

事業内容
人が運転せずとも自動車(モビリティ)の走行を制御できる自動走行技術の実証フィールドを整備し、観光産業などに活用するため、関連施設の整備を行う。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他 ()

		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	57,000	-			
	(b) 予算現額	50,421	-			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,579	-			
	(d) 繰越額	-	25,862			
	A. 計 (b+d)	50,421	25,862			
	B. 執行済額	24,559	25,862			
	うち交付金充当額	19,647	20,689			
	次年度繰越額	25,862	-			
	執行率 (%) (B/A)	48.7%	100.0%			
予算の状況の説明	・H26年度に工事請負費42,969千円、測量設計委託料7,452千円を予定していたが、用地交渉に不測の日数を要したため工事費にかかる25,862千円をH27年度に繰越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		走行用道路測量・設計	目標 (測量・設計)	()	()	()
	実績	測量・設計				
走行用道路の改良工事	目標 (道路工事 L=510m)	()	()	()	()	
	実績	道路工事L=538m				
達成状況説明	平成26年度に測量、地質調査、実施設計を実施し、平成27年度は土木工事、排水工事、舗装工事、附帯構造物工事を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
		走行用道路の整備L=510m	目標 ()	(L=510m)	()	()
		実績		L=538m		
		目標 ()	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	平成27年度8月中旬で整備が完了し、供用が開始され、ロボットモビリティの走行する実証フィールドとして活用している。					

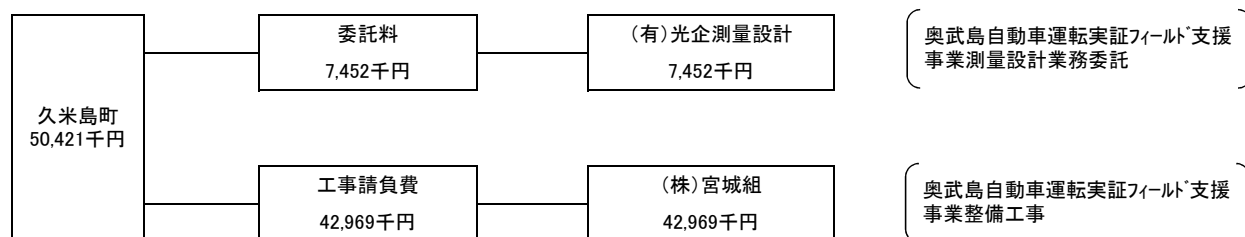
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>久米島町では、無人ロボットモビリティの実証フィールドとして企業と共同でロボットモビリティの実証実験に取り組んでいるが、久米島町でも比較的に通量の少ない、離島である奥武島に実証フィールドとして整備を行った。</p> <p>自動運転実証フィールド支援の整備については、用地交渉に不測の日数を要し、27年度に繰越して事業を実施した。</p> <p>自動運転実証フィールドが完成したことにより、ロボットモビリティによる実証実験について、関連する企業の誘致に力を入れていく必要がある。</p>	<p>現在、道路交通法により公道における完全無人による自動走行は認められていない為、現在、沖縄県全域が指定されている国家戦略特区へ新たなメニューとしての追加提案を行っている。国家戦略特区の新たなメニューとして追加され、公道における完全無人による自動走行の実証フィールドとして活用出来るよう引き続き取組を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

公道における、完全無人による自動走行が可能となるよう特区制度を活用して、無人で走行するロボットモビリティを一つのアトラクションとし、新たなコンテンツの一つとして久米島の観光振興を図るだけでなく、新たな自動運転に取り組む企業を誘致する事で経済の活性化に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
50,421	50,421	40,336	10,085	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○請負業者は指名競争入札により委託業者・施工業者を選定しており妥当であったと考える。</p> <p>○不用額はなため適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	